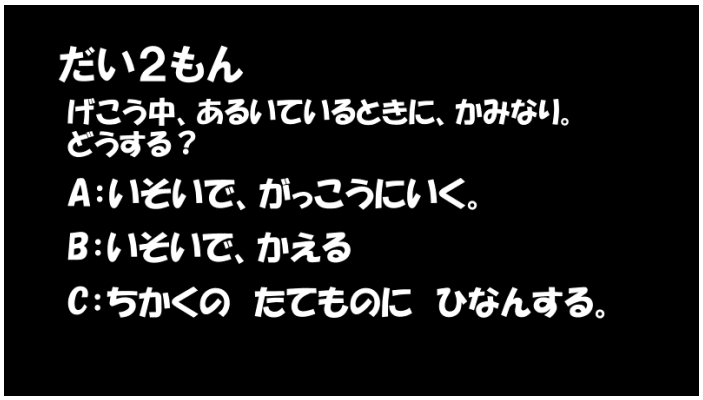
丹波市立竹山小学校長

身を守る力を高める「かみなりがなったらどうする」

５月中旬に防災担当の先生から、「１学期の防災・安全学習は「かみなり」について子どもたちに話をしようと思います」と提案を受けました。



ちょうど昨日 23 日（月）は、登校中に激しい雨と落雷があり、急いで登校した地区や登校中の子どもたちを雨宿りさせて頂いたり、自家用車に振り分けて登校頂いたりした地区もあり、大変お世話になりました。また 4 月には奈良市の学校グランドに雷が落ち、部活動をしていた生徒が病院に搬送されたニュースなども記憶に新しいところです。

雷については天気予報などで『雷注意報』が出されることや、雷が光ってから音がするまで時間がある場合は、まだ雷が遠いので安心などという話を聞かれた方も多くあると思います。光と音の速度の関係から、

今の雷が自分からどのくらいの距離でなったのかはだいたい計ることができます。（光ってから 5 秒後に音が聞こえた場合は約 1700m 離れているとのこと）

担当者も雷の提案をしようと考えてから、自身に雷に対する知識が不足していると感じ、雷から身を守る様々な対策について学習をしたと子どもたちにも話をしてくれました。

今回のプレゼンでは雷から身を守る方法をクイズ形式で示していました。子どもたちは、雷が鳴っている時に自分はどうしたらいいのか考えながら話を聞いていました。

特に「登下校中に雷がなった時」や近くに逃げ込める建物がない時どうするかと問いかけに対して、子どもたちは自分の身を守るために教えてもらった知識を活かしながら、「〇〇するほうがいい」などと、つぶやいていました。また、この機会にお世話になっている『子ども 110 番』の家も併せて紹介してくれました。

こうした子どもたちに自分はどうするかと考えさせることが『考えて行動する子ども』へとつながると考えています。

今後、地区ごとの道路や危険個所の安全確認については 27 日に行う PTA 地区懇談会で登校班ごとに交通事情や危険個所を共有する機会を教養部の方々が考えて頂いています。そこでも、保

護者の皆さんで「子どもたちが安全に過ごすこと」について考えて頂こうと思います。